

丹沢：水無川 モミソ沢

- ◆日程 2016年9月3日(土)
- ◆メンバー L：小林、牛込、佐藤俊
- ◆天候 晴れ

滝沢園を過ぎた堰堤の先より水無川に入り、入渓の準備し9時55分出発、モミソ沢まで遡行していきます。水量が豊富で、流れの急な岩場を越えるのも気合いが入ります。途中水量の多い急流で岩を越えられず、ドボン。佐藤さんに助けてもらい何とか岩の上にあがれました。ここで全身を清めたので、濡れる事への抵抗はすっかり無くなりました。大きな堰堤をいくつか巻いてモミソ沢の出合に到着。懸垂岩では2名がクライミングの練習をしています。左手にそそり立つ懸垂岩と水無川の流れに木漏れ日が差し込み、心地よい景色です。ここで昼食と休憩を取りました。懸垂岩の右手にある一見小さな沢がモミソ沢でした。

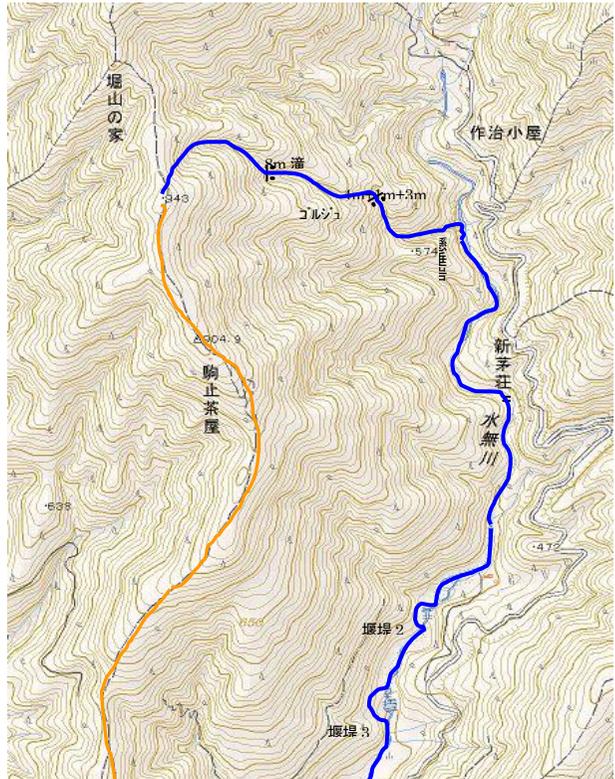
入渓すると切り立った岩に挟まれたV字型の谷の中を進む感じで、小滝が連続し直登します。途中大きな滝があり、ザイルを使い小林さんにビレイしてもらい登りました。次の滝では佐藤さんの初リードで、小林さん、私と続きました。そこでカラビナの掛け方や支点の確保の仕方等教えてもらいました。

最後の大柵12m、小林さんから「次は牛込さん行く」とのまさかの一言で、一瞬尻込みをしたが、「時間かかっていいから」と言って頂き、行く覚悟ができました。そして私の初リードも実現する事になりました。見た目以上に難しく、滑らないように注意しながら登りました。残置ボルトにスリングを通しカラビナを掛けロープを通す全てが初体験でした。最後のボルトに差し掛かった所で、手がかり足かかりが無く、暫く動けなくなりましたが、ボルトに通したスリングを掴んで、岩に絡みつくようにして登る事が出来ました。木の根っこを支点にビレイを取り小林さん、佐藤さんと続きました。ビレイの取り方など迷う事が多く訓練が必要だと感じました。その後大倉尾根の堀山まで詰め上げて終了。ザイル祭の大倉山の家へ向けて下山。内容の濃い充実した沢登りでした。

CT：大倉バス停 9:00/9:08--戸川林道--水無川入渓 9:35/9:55--モミソ沢出合

11:40~昼食~12:15-大柵12m 発 14:40-堀山 15:25/15:45-大倉山の家 16:43

(記：牛込)



=== 初リードを経験して 佐藤俊 ===

モミソ沢は大倉尾根の中腹 940m付近を源頭に水無川に流れる沢で、出合にはクライミングの練習ができる懸垂岩があります。今回は大倉バス停から 40 分ほど進んだ上大倉の堰堤より入渓し、連続する堰堤を巻きました。前大沢の出合、倉見山荘の付近からは緑が濃く水流もなかなか速く、丸い大きな岩が小滝を形成し、その中を腰くらいまで水につかりながら非常に楽しかった。

モミソ沢後半のゴルジュの手前、4m+1m+3m の 3 段の滝の上段をロープで直登、残置ハーケンでビレイをとり登りました。私の初リードです。ランニングを取ることより、登った後の確保支点の取り方で慌ててしまいましたが、非常に良い経験になりました。

また、最後の 12m 大瀬では、登れるか少し不安もありましたが、ロープを出して登はんすることができました。これは前週の岩トレの成果だと思いました。



佐藤の初リード、ビレイヤー小林



牛込の初リード、ビレイヤー佐藤